

# 松江圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成26年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H26目標	H26実績	達成率
松江-1	木材生産倍増プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な木材生産を目指すためにプロジェクト会議において松江管内の林業推進方法の検討を行い、森林経営計画のカバー率のアップや森林組合と民間事業者の連携推進(計画作成:森林組合 伐採・搬出:民間事業者)が図られた。</li> <li>原木の搬出を効率的に行うための作業路開設が進み、合板原木安定取引協定(日新、斐伊川流域森林組合納材協議会)に基づく原木供給が順調に実施された。また、H27から始まる木質バイオマス発電への原木の出荷が開始され、これまで山林に放置していた木材の有効利用が進んだ。</li> <li>苗木生産者2名が新規に生産者登録を行った。来年度から生産を開始することにより、慢性的に不足している山行苗の生産増が期待される。</li> <li>木材生産量の増加と搬出の効率化を目指し、先進地への視察や作業システムの検討会を重ね、新たな高性能林業機械の導入を決定した。(しまね東部森林組合)</li> </ul>	木材生産量 (m <sup>3</sup> )	12,200	17,164	141%
松江-2	県産材製品の新たな需要拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>製材所の設備導入やチップ工場の新設など、新たな木材利用機会が増え、木材需要の拡大が図られた。また、A材需要に応えるための原木直納を試験的にを行い、供給チャンネルを増やす取り組みも始まった。</li> <li>県外出荷に関してはラミナ材の出荷が堅調に推移している他、新たな梱包材利用(ダンネージ材)の出荷も始まった。</li> <li>木材利用拡大に、向けては様々な取り組みが行われ、概ね順調に進んだ。また、木造建築の促進に関しては、住宅フェアや工務店向けの勉強会の開催など関係者がPR機会を積極的に設け、木造住宅等の普及に向け、木材への知識と関心が深まった。</li> </ul>	県産材製品県外出荷量 (m <sup>3</sup> )	360	333	93%
			顔の見える木材での家づくり活動グループの木造住宅着工戸数 (戸・累計)	80	61	76%